

2020年度 横浜女子短期大学 教員免許状更新講習 募集要項

(2020年7月16日版)

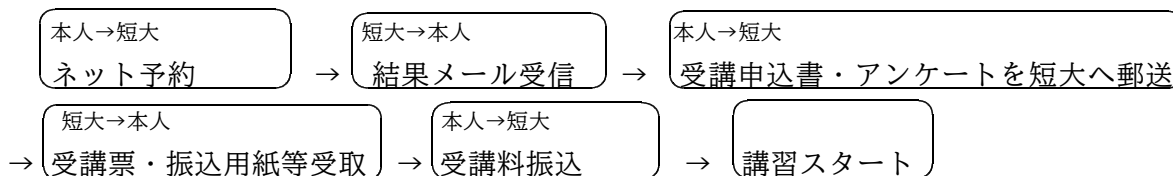
1. 主な受講対象者

- ・修了確認期限または有効期限が令和3年（平成33年）3月31日、または令和4年（平成34年）3月31日の方で以下のいずれかに該当する方
幼稚園教諭・認定こども園で勤務する保育教諭・認可保育所で勤務する保育士・幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士・過去に幼稚園教諭として勤務した経験のある方
- ・修了確認期限または有効期限が切れている方で以下のいずれかに該当する方
過去に幼稚園教諭として勤務した経験のある方・幼稚園教諭として採用が決まっている方

※詳細は文科省のホームページ参照 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/

※園長等により受講対象者であることの証明が必要です

2. 申込のながれ



3. 日程

| 区分 | 選択B | 8月対面式 | 8月通信教育 |
|--------------------------|------------------|------------------|------------------|
| 受講者募集期間（ネット予約のみ） | 通信教育のみの為 随時受付 | 先着順 定員になり次第終了 | 先着順 定員になり次第終了 |
| 予約結果メール送付 | 随時 | 随時 | 随時 |
| 予約完了者のみ受講申込書・アンケートを本学に郵送 | 随時 | 随時 | 随時 |
| 受講票・振込用紙を本学から郵送受取 | 書類到着後に本学より送付 | 書類到着後に本学より送付 | 書類到着後に本学より送付 |
| 振込用紙で受講料を振り込み | 振込用紙到着後すぐ | 振込用紙到着後～各受講日前日 | 振込用紙到着後～8月24日 |

4. 時程（対面式）

受付8:45～ 講習9:00～16:10 受講者評価書記入など16:10～20 詳細は後日連絡
※国・神奈川県・横浜市などからの中止要請などがでた場合、ブルーレイディスクの郵送による通信教育、または延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 履修方法

- ・通常は本学の今年度5～8月の講習から必修領域講習1日（6時間）、選択必修領域講習1日（6時間）、選択領域講習3日（18時間）を選んで合計30時間で教員免許状更新講習を修了します。
- ・昨年度や来年度の本学講習や他大学などの講習と組み合わせることにより、必要な講習のみを受講することもできます（必修領域講習、選択必修領域講習、各選択領域講習は、それぞれの認定もできます）
- ・昨年度、本学の更新講習を受けた方は、昨年度と同じ内容の講習を受講することは出来ません。選択領域講習Aと選択領域講習Fは、昨年度と同じ内容を含みます。内容を良くご確認ください。

6. 申込について

- ・インターネットで予約を受け付けます。（電話やFAXでは受け付けません）
<https://forms.gle/fggbvDCtKjQHGXN6>
- ・一次締切までは先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選となります。一次締切後に空きがある場合は、先着順となります。
- ・一次締切終了後、予約結果をメールでお送りします。一次締切後は随時、予約結果をメールでお送りします。（迷惑メール設定を解除して下さい）
- ・メールの結果、予約できた方は、「受講申込書」と「アンケート」を指定期間内に指定住所に郵送して下さい。（受講申込書には、勤務園の公印での捺印が必要となります）
- ・「受講申込書」と「事前アンケート」を受付後、受講票と振込用紙を郵送します。

7. 受講料

各1日1講習6時間 各6,000円

受講料は本校指定の振込用紙の他、ATM等での振り込みとなります。

振込手数料は各自負担でお願いいたします。

8. アクセス

JR京浜東北・根岸線 港南台駅 徒歩5分

- ・自動車での来校は厳禁です。港南台駅から徒歩5分のため公共交通機関を利用して下さい。

9. 講習内容

| 講習の名称 | 講習の概要 | 担当講師 |
|------------------------------|--|-----------------|
| 【選択B】 横浜女子短期大学 選択領域講習B | 前半：子どもの環境における学びと支援 提示した自然に関する実践事例での学びや、受講者が学内外の自然に直接触れる体験を通して、子ども | 岡本 眞幸 (本学教授) |

| | | |
|--|--|--|
| <p>5月23日, 8月31日 定員50名 【ブルーレイディスクの郵送による通信教育のみに変更】</p> | <p>が自然環境から学ぶことや援助、環境構成の意義を学ぶ。 後半：2030年の社会に向けた国の教育の行方を探る中教審答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月）を再読しながら今後の教育の動向を考察する。</p> | <p>平澤 順子 (本学専任講師)</p> |
| <p>【選択C】 横浜女子短期大学 選択領域講習C 7月18日 定員50名 【対面式とブルーレイディスクの郵送による通信教育の選択】 【対面式は定員に達した為受付終了】</p> | <p>前半：幼児期の健康～運動あそびの指導と援助 幼児のからだところの発達と健康についての現状や問題点を理解し、子どもが「多様な動作」を身につけていくために必要な保育を実践的に学ぶ。 後半：自他の価値観の相違を理解する 自己の価値観の特徴や他者の価値観との差異を再認識することをもとに、教育者としてのコミュニケーション能力の向上を図ります。これを通して、日々の保育・教育実践や保護者支援、チーム保育実践の質の向上を目指します。</p> | <p>堀内 弓子 (本学教授) 石山 直樹 (本学専任講師)</p> |
| <p>【選択D1】 横浜女子短期大学 選択領域講習D1 8月18日 ※D2と同じ日に開催予定(後半プログラムが異なる) 定員50名 【対面式とブルーレイディスクの郵送による通信教育の選択】</p> | <p>前半：幼稚園における子ども虐待への対応 ①子ども虐待への早期発見の法的根拠、子ども虐待の兆候、通告義務などについて理解を深める。②子ども虐待が発生した場合の関係機関との連携について学ぶ。③レジリエンスの視点を紹介し、虐待を受けた子どもの回復する力をどのように促進することができるのかを考える。 後半：幼児期の健康～多様な動きを引き出す運動あそび～ 以下の3点をポイントに展開する。 ①幼児自らが体を動かす楽しさを実感できるような指導法 ②運動の種類や動きの多様性に焦点を当てた、遊びの環境構成 ③「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とくに、「健康な心と体」について</p> | <p>スティーブン・トムソン (本学准教授) 佐久間 博子 (本学准教授)</p> |
| <p>【選択E】 横浜女子短期大学 選択領域講習E 8月19日予定 定員50名 【対面式とブルーレイディスクの郵</p> | <p>個別の配慮が必要な子どもと保護者 主として、子どもの命をめぐる問題を取り上げたい。女性の生き方の変化に伴い、子どもを育み育てる女性の生き方が変化してきている。妊娠出産に関わる女性特有の健康、病気をもつ子どもについて理解することで、子どもの保護者理解につながり、子育て支援・保護者支援に活かせる可能性がある。命を取</p> | <p>渡邊 悦子 (本学専任講師)</p> |

| | | |
|--|---|--|
| <p>送による通信教育の選択】</p> | <p>り巻く環境や実際を理解することで、子ども理解と保護者理解を深め、主として身体的な問題を持つ子どもの個別な配慮について考察する。</p> | |
| <p>【選択必修】 横浜女子短期大学 選択必修領域講習 8月20日 定員90名 【対面式とブルーレイディスクの郵送による通信教育の選択】 【対面式は定員に達した為受付終了】</p> | <p>前半：学校を巡る近年の状況の変化 「3法令の改訂」、「幼児教育無償化」等、幼児教育をめぐる大きな流れの変化の中で、「保育の質」をどのように高めていけばよいのかということは重要な課題です。「主体的・対話的・深い学び」の実践とは具体的にどのようなものか。また、保育の質を高めるための保育者個人の実践、園での協働のあり方について。さらに保育の評価について学びたいと思います。 後半：学校における危機管理上の課題 園における危機管理上の課題には、どのようなことが考えられるのでしょうか。①火事、地震、台風等による災害、②交通事故や侵入者による被害、③保育中の怪我や病気、④情報の漏えい等があります。園のあるべき姿、一人ひとりの保育者が出来る事は何かを学びます。</p> | <p>佐野 真弓 (本学教授) 本田 幸 (本学准教授)</p> |
| <p>【必修】 横浜女子短期大学 必修領域講習 8月21日 定員90名 【対面式とブルーレイディスクの郵送による通信教育の選択】 【対面式は定員に達した為受付終了】</p> | <p>幼児教育をめぐる近年の状況の変化、国の教育政策・教員としての子ども観についての省察 国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観、教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題等について講義を行う。幼児教育に関する国の政策動向を概観・整理し、その現状と課題を考察する。また、教員・保育者に対する社会からの要請について、近年の状況変化を踏まえながら考察し、教員・保育者の今日的役割について考察する。また、発達心理学や認知科学・脳科学の最新の知見を基に、子どもたちの発達を支え主体的な学びを促すための適切な援助方法について学ぶ。</p> | <p>岡本 真幸 (本学教授) 細野 美幸 (本学非常勤講師・鎌倉女子大学短期大学部准教授)</p> |
| <p>【選択A】 横浜女子短期大学 選択領域講習A 6月27日 定員70名 【講習終了】</p> | <p>前半：“あそびうた”から保育の総合性を探る あそびうたのルーツは「わらべうた」です。時代や文化と共にわらべうたは変化してきました。あそびは自由で、たのしく、心が満ちあふれるものです。そのあそびうたという1つの教材から子どもの主体的な活動へと導き出す保育の総合性を共に探りたいと思います。</p> | <p>二階堂 邦子 (本学教授) 鵜野澤 武美 (本学専任講師)</p> |

| | | |
|---|--|--|
| | <p>後半：幼稚園における子育て支援</p> <p>幼稚園における子育て支援の意義や、保護者支援についての理解を深め、幼稚園教諭として適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。また、実際の事例を取り上げながら、幼稚園教諭として幼児の生活全体が豊かなものとなるためには何ができるのかを考える。</p> | |
| <p>【選択D2】</p> <p>横浜女子短期大学 選択領域講習D2 8月18日 ※D1と同じ日に 開催予定（後半プ ログラムが異なる） 定員18名 【定員に達した為 受付終了】</p> | <p>前半：幼稚園における子ども虐待への対応</p> <p>①子ども虐待への早期発見の法的根拠、子ども虐待の兆候、通告義務などについて理解を深める。②子ども虐待が発生した場合の関係機関との連携について学ぶ。③レジリエンスの視点を紹介し、虐待を受けた子どもの回復する力をどのように促進することができるのかを考える。</p> <p>後半：初学者・初心者へ向けて、幼児教育における歌伴奏の技術習得</p> <p>現在、ほとんど歌伴奏をされていらっしゃらない方へ向けて、易しい楽譜を用いながら童謡の伴奏を身に付けます。子どもたちと楽しく過ごすための一助となるよう願っています。</p> <p>チューリップ・ぶんぶんぶん・ぞうさん他 10曲程度の中から数曲選択。事前に簡易楽譜を郵送いたします。</p> | <p>スティーブン・ トムソン (本学准教授)</p> <p>篠原 万喜子 (本学教授)</p> |
| <p>【選択F】</p> <p>横浜女子短期大学 選択領域講習F 8月24日 定員50名 【定員に達した為 受付終了】</p> | <p>前半：描画材料の種類と描画の技法の実践</p> <p>子どもの発達段階に沿った、描画材料や技法について学びます。また演習を通して技法のねらいを確認し、保育の中で展開できるようにしていく大切さも学びます。</p> <p>後半：簡易伴奏・器楽指導</p> <p>弾き歌いが容易になる為の伴奏法を習得します。電子ピアノを使用しヘッドホンで個々に確認できる環境が用意されています。また、保育の現場で使われている楽器の扱い方を習得し、保育楽器を用いたアンサンブルの和音及びベースラインの付け方、リズム楽器等の編曲法を学習します。楽器は本学の楽器を使用できます。</p> | <p>横森 弘之 (本学教授)</p> <p>兼子 真理 (本学専任講師)</p> |

10. その他

- ・施設内は全面禁煙です。昼食はお弁当持参または周辺商業施設をご利用下さい。
- ・お問い合わせは電話の場合、平日9:00～17:00に教学課(045-835-8107)までお願いいたします。時間外はメール「koushin@yokotan.ac.jp」でお願いいたします。